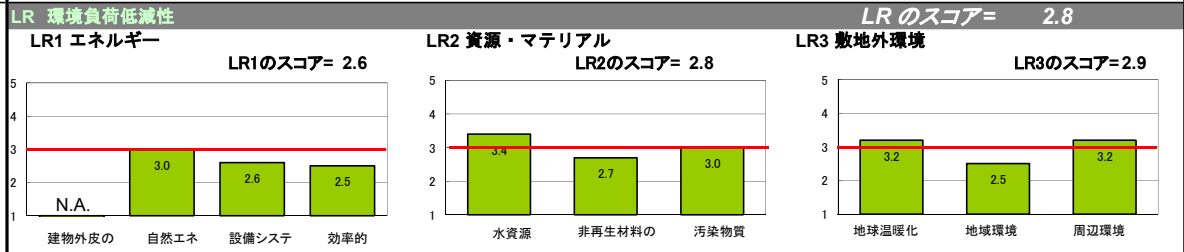
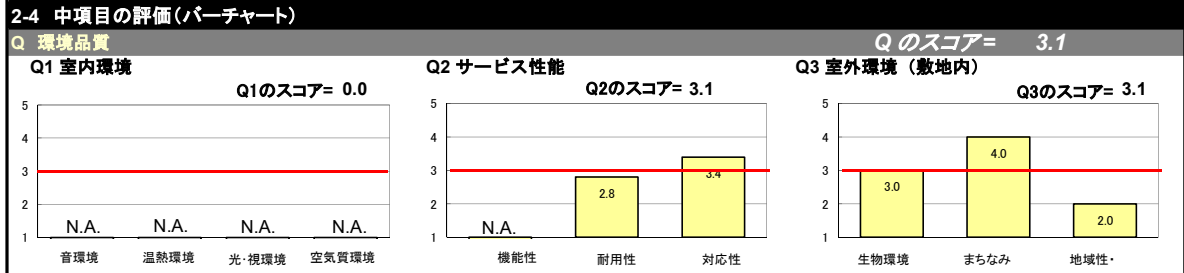
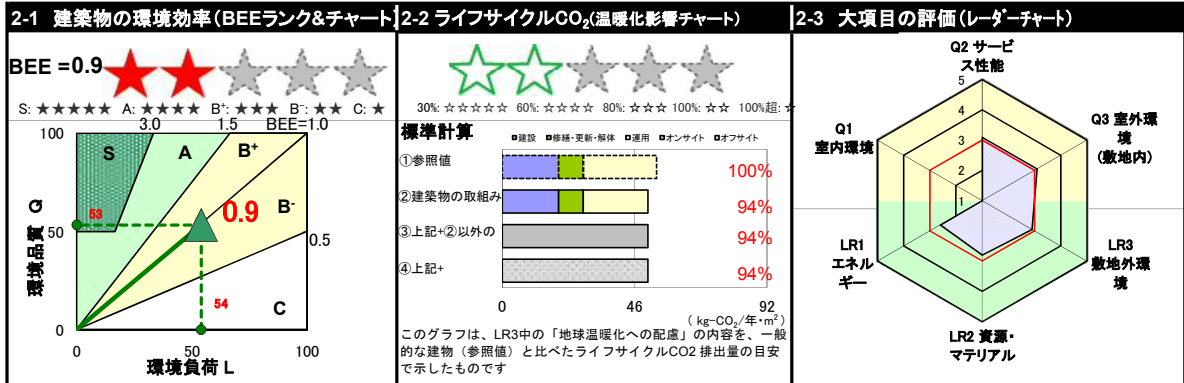



1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	セントラルキャン西尾工場	階数	地上2階	
建設地	愛知県西尾市西浅井町古切戸67番	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域、法22条区域	平均居住人員	43 人	
気候区分	6地域	年間使用時間	2,016 時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年6月10日	
敷地面積	15,594 m ²	作成者	宗澤壽彦	
建築面積	5,583 m ²	確認日	2019年7月10日	
延床面積	5,883 m ²	確認者	宗澤壽彦	



3 重点項目


<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">3.2</p> 	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">26.6 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">2.9</p> 	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="text-align: right; font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$

 みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部							全体	
		建物全体・共用部	建物全体・共用部	建物全体・共用部	建物全体・共用部	建物全体・共用部	建物全体・共用部	建物全体・共用部		
Q 建築物の環境品質		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数			
Q1 室内環境									3.1	
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル										
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能										
2 界壁遮音性能										
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音										
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1 室温										
2 外皮性能										
3 ソーン別制御性										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境										
3.1 昼光利用										
1 昼光率										
2 方位別開口										
3 昼光利用設備										
3.2 グレア対策										
1 昼光制御										
3.3 照度										
3.4 照明制御										
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質										
4.2 換気										
1 換気量										
2 自然換気性能										
3 取り入れ外気への配慮										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q2 サービス性能				0.43					3.1	
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応										
3 バリアフリー計画	独自									
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観 (天井高)										
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画										
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計										
2 維持管理用機能の確保										
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振										
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.48				
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.80				
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20				
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.33				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②				3.0	0.23				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.09				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.08				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.15				
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.23				
2.4 信頼性					2.4	0.19				
1 空調・換気設備					3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20				
3 電気設備					1.0	0.20				
4 機械・配管支持方法	②				3.0	0.20				
5 通信・情報設備					3.0	0.20				

3 対応性・更新性				3.4	0.48				3.4
3.1 空間のゆとり				3.8	0.31				
1 階高のゆとり			十分な高さを確保	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ				2.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31				
3.3 設備の更新性				3.6	0.38				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性			露出配管、ビット利用	4.0	0.17				
3 電気配線の更新性				3.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性			受変電設備は外部に設置	4.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保			外部に十分なスペース有り	4.0	0.22				
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57				3.1
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30				3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	近隣在来種と類似した樹種選定	4.0	0.40				4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性									2.8
LR1 エネルギー					0.40				2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制									-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28				3.0
3 設備システムの高効率化				2.6	0.43				2.6
4 効率的運用				2.5	0.29				2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				2.0	0.50				
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・マテリアル					0.30				2.8
1 水資源保護				3.4	0.15				3.4
1.1 節水			節水型便器使用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				2.7	0.63				2.7
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②	-	3.0	0.20				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	-	1.0	0.20				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	躯体 軽鉄+PB(分離が容易)	4.0	0.24				
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68				
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50				
3 冷媒				3.0	0.50				
LR3 敷地外環境					0.30				2.9
1 地球温暖化への配慮		①		3.2	0.33				3.2
2 地域環境への配慮				2.5	0.33				2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	十分な駐車スペースの確保	4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33				3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	0.50				
2 振動		独自		3.0	0.50				
3 悪臭									
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制									
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				4.4	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物/設置無し	5.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
② 資源の有効活用				2.9
Q2-2	耐震性・信頼性	2.8	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.17	外構緑化:26.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 セントラルキャン西尾工場

計画上の配慮事項	
総合	工場の南側に隣する住宅地に対し、工場部分の窓の設置を省き、外壁にGWを充填し、音漏れの減少に配慮している。敷地内に植栽帯を設け、室外環境の向上を図る。
Q1 室内環境	
Q2 サービス性能	居室の天井高さを確保し、休憩スペースの広さも確保して、快適性の確保に努める
Q3 室外環境(敷地内)	外構に植栽帯を十分確保するとともに、植栽の維持管理に努める
LR1 エネルギー	LED照明器具を採用することで省エネルギーを図る
LR2 資源・マテリアル	鉄骨造により、躯体と仕上材を容易に分別可能とし、部材の再利用の可能性の向上を図る
LR3 敷地外環境	敷地内に十分な駐車スペースを確保するとともに、前面道路の乗入れ口には、大型のトラックの待避スペースを確保することで、道路上に駐車待避しないように努める。
その他	